

はい!

# やくも町議会です

第 76 号  
令和5年2月  
編集 / 議会広報広聴常任委員会

本門佛立宗  
本  
現  
寺

## 積雪で狭くなった危険な通学路（祈！安全運転）

文教厚生常任委員会で行った子育てアンケートで、一番多かったのは「通学路が危険で不安」という意見でした。町内には危険な通学路が他にもあります。運転される皆さんは、くれぐれも安全運転をお願いします。そして、1日も早い改善を望みます。

### 主な内容

	ページ
○補正予算 .....	②
○特集！生ごみを制すれば、「ごみ」を制す！ .....	③
○6名の議員が町政を問う（一般質問） .....	④
○議決・賛否一覧他（定例会・臨時会） .....	⑩
○常任委員会の活動（所管課報告） .....	⑫
○Yakumo Educational Serviceの皆さん（耳をすまして） .....	⑭



第4回定例会

令和4年度一般会計補正予算

15億2,496万2千円追加

(補正後の総額 170億2,933万1千円)

第4回定例会は12月8日から12月13日までの会期で開かれました。追加提出を含め、補正予算、条例の改正など議案14件を審議し、いずれも原案どおり可決しました。

補正の主な内容

漁業振興設備等整備事業補助金 1,240万円

- ・ PPボックス保管倉庫クレーン設置事業 330万円
- ・ 鉛川籠洗い施設整備事業 410万円
- ・ ウニ給餌養殖用生簀施設導入事業 500万円



アイヌ農林漁業対策事業補助金 5,991万3千円

- ・ 全自動ホタテ耳吊り機19台分（事業費総額9,196万円）に対する補助金

アイヌ農林漁業対策事業補助金とは  
アイヌ農林漁家の所得及び生活水準の向上を図るために必要な生産基盤の整備や施設整備等を支援する事業

補助率：国費2/3以内、道費1/20以内  
主な採択要件

- ・ アイヌ農林漁家原則3戸以上
- ・ アイヌ農林漁家受益割合概ね5割以上

橋りょう解体工事請負費 1億1,700万円

公共土木施設災害復旧工事請負費 9,220万円

- ・ 8月15日～16日にかけての豪雨被害による、護岸決壊箇所の復旧工事費

- ・ 放課後児童健全育成事業補助金 91万2千円
- ・ 熊石デイサービスセンター運営事業委託料 127万2千円
- ・ 国民健康保険事業特別会計繰出金 495万5千円
- ・ 介護保険事業特別会計繰出金 47万2千円



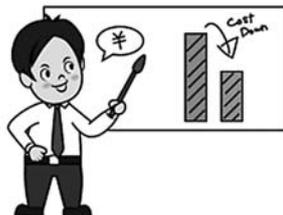
解体される建岩橋（鉛川地区）

八雲町の燃やせるゴミの処理にかかる費用は？

年間 **2億502万4千円！**

※令和3年度実績(生ごみ含む)

八雲町における生ごみの回収率は、令和3年度で**24.3%**です。もし、各家庭で生ごみを分別して出した場合、令和3年度の実績に基づく試算で、年間**714万7千円**も削減できるそうです。



## ＜八雲衛生協会生ごみ分別推進事業＞

八雲衛生協会では、加入町内会のうち、各町内会地区単位もしくは、地区内の各班単位で、生ごみの分別実施を希望する団体に対し、1戸につき月8枚の月数分の生ごみ専用袋を、予算の範囲内で無償配布しています。

### 富士見町1区町内会の取り組みを紹介します！

富士見町1区では、令和3年度の町内会の新年総会で『生ごみ分別収集』の出前説明会を行い、その後、生ごみ分別推進無償配布を申請してゴミ袋を配布しました。希望する家庭には、臭いが漏れないよう生ごみ専用バケツを町内会費で購入して配布したそうです。その成果もあり、富士見町1区町内会では、生ごみの分別がしっかりと出来ているそうです。素晴らしいですね！

➡ さあ！今日からできることを皆で始めてみましょう！

生ごみを制すれば、「ゴミ」を制す！

ごみ処理費用を少しでも減らすために、みなで考えましょう！

# 一般質問

# 町政を問う!

※質問した議員本人が原稿を書いています。

一般質問とは？

町の仕事の全てを問いただし、自由な意見を述べ、それについて町の公式見解を引き出すことのできる機会。華やかであるが「力量」が問われる。

Q

## 不登校児童生徒の支援について

A

## 相談しやすい環境づくりを推進

くらち 倉地 きよこ 議員



登校になってしまいうケースも増えている。不登校児童生徒や保護者への支援について、どのように取り組んでいるのか。

**教育長** 定期的な教育相談の実施、スクールカウンセラー等の活

問

文部科学省の調査によると、令和3年度の義務教育課程の不登校児童生徒は、前年度より増加し、24万4940人となっている。八雲町においても不登校児童生徒の数は、少ないとは言えない状況と

用により、児童生徒が相談しやすい環境づくりを推進している。また、保護者への支援を要する場合は、子育て支援センター等の関係機関と連携し対応している。

**問** 不登校を未然に防ぐためにはスクールカウンセラーの役割は

大きい。拠点配置されているカウンセラー同士の情報共有や、教員研修、更にはカウンセラーと教員による共同授業を行うことが効果的と思うが。

**教育長** スクールカウンセラー

不登校の理由は、学校生活をめぐる問題がきっかけとなった子ども達が多い一方で、「不安感」「生活の乱れ」「家庭の状況」などを挙げ

には、それぞれ得意分野があり、

個人情報についてもきちんと管理できる方々である。そうした方々と協力していくことで、解決策が見えてくると考えている。

**問** 登校できなくなってしまった児童生徒の学校外における第三

の居場所や、悩んでいる保護者の相談場所はあるのか。

また、関係課との連携についてはどうなのか。

**住民生活課長** 子育て支援センターにおいて、リーススペース

を活用した授業等を行っている。また、不登校に関して、保護者が気軽に相談できる場を設けている。

**教育長** 八雲町においては、学校、教育委員会、子育て支援セン

ター等と情報共有し、横の連携をしっかりと取りながら専門的な知見を活かし、家庭のフォローをしているところである。

職員個人の力を有効に活用し、チームとしての総合力をもって、課題を抱えている家庭、子どものサポートをしていくことが大事であると考えている。

**Q** 包括的性教育が出来ていない現状をどうするか？

**A** 学習指導要領の範囲で充実は図れる

みさわ 三澤 議員  
きみお 公雄



**問** 性教育について、来年度から本格導入の「生命（いのち）の安全教育」では不十分だと思うが。

**教育長** 国においては、性教育を包括的ではなく、性暴力がないうようにという取り組みを進めており、そういった資料を有効に活用して進めていきたい。

**問** 「家庭での性教育」がやりやすくなるような応援はできないのか。

**教育長** 学校での教育内容や状況を共有できるように、関係者と検討・協議をしていきたい。

**問** 教員の業務負担軽減策として、教材づくりやSNS発信など、その技能に長けた町内人材を活用すべきではないだろうか。

**教育長** 学校の状況を把握した中で検討したい。

**町長** もし、八雲町が「性教育をきちんとできる町」となったなら、子育てがしやすく、移住・定住や、更には外国人の方々にも暮らしやすい環境になるだろう。

「日本一、性教育の充実した町」というのも一つの売りであるのか、と思いつながら、未来の八雲町にとって大切なことであると受け止めている。

**【包括的性教育とは？】**  
身体や生殖の仕組み以外に、人間関係や性の多様性、ジェンダー平等への理解や人権など、幅広いテーマを含む教育。

「性交」には触れず、避妊や性暴力について教える日本の性教育は「？」だらけ。国が正すべき。  
(大久保)

**Q** 自己負担した「風呂設備」を町で買い取れないか。

**A** 買い取りは難しいが、課題であると思っている

**問** 「風呂無し」の町営住宅に入居後、自費で設置した風呂設備は退去する際に自費で撤去しなければならぬというのが現行のルールである。

町が買い取ることで、「風呂のある住宅」になり、無駄が減らせるのではないだろうか。

**町長** 町営住宅652戸のうち、自己負担で風呂釜や給湯設備を設置し、退去時に撤去をお願いしている住宅は327戸ある。

設置した風呂設備の買い取りについては、購入価格を決定する際の算定が難しいことや、設備の修繕や更新についても町で負担しな

ければならないことから、買い取りは難しいものと考えている。町ではなく民間の専門業者が行うということも、課題としてあると思う。

この質問は、町内の民間団体から相談されたことが発端であり、その中で、他町では設備の買い取りをやっているところがあるという話があったので、八雲町でも何かできるのではと思い、団体の中で検討されたことを質問してみました。

町長の答弁を受けて、今後、さらに検討していきます。

「町民の皆さんの困り事や、まちづくりのアイデアを、気軽に持ち寄ってください。」と代表者さんは申しました。  
(三澤)



### Q 通学路に歩道を

### A 総合的に判断する

さとうともこ 議員  
佐藤 智子



総合的に優先順位付けをし、事業実施の判断をしていきたい。

Q 生理用品を  
トイレトペーパーのように

A いくつか課題がある

問 生理用品を学校が率先して、保健室ではなく、トイレの個室に設置してはどうか。

教育長 町内の小・中学校において、生理用品が購入できないといった相談は現時点では寄せられていないが、児童・生徒が急に必要になった時には保健室に常備しているものを提供している。

学校のトイレに生理用品を常備することにについては、誰でも気兼ねなく自由に使用できるメリットはあるが、常備期間が長くなるこ

「八雲町交通安全計画書(令和3年度(令和7年度)」に基づいて歩道の設置を進めるべきではないか。  
町長 歩道の設置や道路の拡幅は、用地の確保や建物の補償などに沿線住民の理解と協力が必要であり、事業費も莫大である。私も子育てには歩道が大切だと思っているが、そう簡単ではない。必要性・有効性を見極めながら総

とに伴う衛生面や補充を含めた設置場所の管理が課題として考えられる。

教育委員会としては、こうした課題を踏まえ、校長会や養護教諭会などと、どのような施策や対応が必要であるか、協議・検討していきたいと考えている。



Q オストメイト対応トイレの促進を

A 新たな施設で

整備を検討する

問 町内にオストメイト対応トイレはいくつあるか。

人工肛門を余儀なくされた方が公共施設を利用しやすくするため、設備を整えていくべきではないか。

教育長

町内で設置している

施設は、調査した範囲で、八雲地方合同庁舎、ふれあい交流センターくまいし館、パノラマパークの各施設、八雲中学校、八雲高校、八雲総合病院、はぴあ八雲のほか、家電量販店1店舗の計8施設。平成18年にバリアフリー法ができてから、オストメイト設備設置が義務付けられた。平成23年には国の補助制度を活用し、「はぴあ八雲」の障がい者用トイレに設備を整備した。今後は新庁舎など新たな施設の整備や既存施設の大規模改修の際に検討したい。

問 公民館やシルバープラザにオストメイト対応トイレは整備できないのか。

町長 いずれも、バリアフリー法改正前の建物であり、現時点での設置は難しい。

【オストメイトとは?】

ストーマと呼ばれる人工肛門や人工膀胱をお腹に取り付けた人オストメイト対応トイレはストーマ器具や汚れ物を洗うための汚物流しや、水栓器具を設けたトイレ

**Q** 八雲町には道の駅が必要だ

**A** 必要だと思う、実現したい

おおくほけんいち  
大久保建一 議員



**問** 「休憩機能」「情報発信機能」

「地域の連携機能」などの機能を併せ持つ道の駅、全国で1198

駅、北海道では127駅と増え続け、今や観光客・地域の住民や物産販売に欠かせないものになっている。

八雲町は国道5号線と国道277号線を結ぶ交通の要衝であり、道の駅がないのはとてももったいない。設置に向け、検討するべき。

**町長** 「情報交流物産館・丘の駅」が同様の役割を担っているが、北海道新幹線延伸を見据え、費用

対効果も踏まえ検討したい。

国道バイパス沿いは津波浸水区域となっているので、新幹線新駅までの車の流れも考慮し、新庁舎そばに防災公園や防災道の駅を考えている。

道の駅は国道5号線沿いでなければ、意味はないと思います。(大久保)

**Q** DX推進を早急に始めよう

**A** できることから進めていく

**問** デジタル化に合わせ、制度

や組織の在り方を変革していくDX(デジタルトランスフォーメーション)が求められている。国ではデジタル社会に向けた基本方針や関連法を既に示している。当町における推進状況はどうなっているのか。

**町長** マイナンバーカードに関連した戸籍や税といった業務システムの標準化や、行政手続のオンライン化など、より効率的な方法を模索しながら業務を進めている。昨年度からLINE配信を導入し、広報活動のDXも進めてきた。

今後も公文書の電子化や電子決裁の導入、業務システムのクラウド化によるテレワーク、ペーパーレス化などを進め、行政改革に繋がりたいと考えているが、それを担う人が足りていない。人材確保と教育に力を入れていく。

**問** コロナ感染時の対策でもあるテレワークはできる状況にあるのか。

**町長** できる状態にはあり、感染を理由としたテレワークは始めているが、今は紙の資料も多く、情報保護などの課題もあり、十分協議をしながら進めたい。



**議会これからの予定**

- 《2月》 9日 総務経済常任委員会
- 16日 文教厚生常任委員会
- 《3月》 2日 議会運営委員会
- 8日～16日 第1回定例会
- 全員協議会
- 総務経済常任委員会
- 文教厚生常任委員会
- 広報広聴常任委員会
- 議会運営委員会

**議会を傍聴してみませんか**

次の議会は、  
**令和5年第1回定例会**  
**3月8日(水)午前10時から**  
開会の予定です。  
お気軽に足を運んでみてください。  
YouTubeで映像配信もします

# Q ごみの減量化と活用を！

## A 民間と連携し、ごみの対策・活用を研究

あかい 赤井 議員



問 ①生ごみの分別は、ザルで捨てられるコンポストの活用で、より進むのではないか。

町長 ①生ごみの分別はなかなか進んでいないが、市街地以外でも、週2回収集される国道沿いや落部地区の収集が可能か検討する。コンポストの可能性は、試験的に検討しながら進めたい。

②ごみの減量化は、学校での取り組みにより、子ども達を通して家庭にも活かされるのでは？

②令和3年度は野田生中学校がSDGsの観点から、ごみの処理状況やリサイクルの現状について学習した。令和4年度は八雲小学校の社会科学見学で、ごみの分別とリサイクルによる、ごみの減量化について学習した。今後も学習機会を継続していく。

③紙おむつのゴミ処理のため、富良野市を視察研修した成果と今後の取り組みは？

③富良野市では紙おむつの燃料化に取り組んでいるが、コストが高く、採算が合わないのが実態である。

④今やプラスチックごみは世界的な課題で、2050年の海は、魚の量よりプラスチックごみの量を上回ると言われている。二つの海を持つ八雲町として、今後の対策

④熊石地域は、クリーンアップ作

戦で年2回、八雲地域は6月に山崎・黒岩地区の海岸清掃を実施した。ホタテ貝を活用したアスファルトを考えている。

問 近隣町と連携して、紙おむつと間伐材でペレットを作って活用している例、ペットボトル以外のプラスチックごみでコンクリートを作っている例もあるので、是非、積極的に調査して取り組んで欲しい。

町長 民間企業とも相談しながら研究していきたい。

## Q 情報共有・課題共有を！

A SNSを活用し参加しやすくする

問 日本全体が、今まで経験したことのない少子化・人口減少に向かっている。八雲町も年々人口が減少し、どのような課題が出てくるのか難しいが、町民みんなで知恵と力を合わせなければ、元気な八雲町は維持できないと考える。小中高生を含めた町民と共に、情報共有・課題共有をしながら、少

しでも改善できるように、10年後20年後、そして未来のまちづくりについて、話し合いの場を作る必要があると思うが、いかがか。

町長 中高生や若い人の意見は、これからのまちづくりには重要である。新幹線開通に向けて、来年から2ヶ年かけて計画を進めるため、子ども達や町民との意見交換も考えているので、まとめていきたい。

問 ICTによる地域貢献をしている民間会社もあるので、連携して空家対策や教育問題など、新幹線ばかりではなく、まちづくり全体の話し合いを進めて欲しい。

町長 移住・定住も含め、民間会社との連携は積極的にアプローチしたい。



**Q** 堆雪場所を増やせないか

**A** 利用可能なところは協力を要請する

よこたきよし 議員 横田喜世志



などにより、道路状況を確認しながら、排雪作業を実施している。降雪量や風の状況などによっては一時的に道路状況が悪くなる場合もあり、その都度、部分的に対応している。

**問** 冬になると、雪による近所トラブルも増えてくる。町と町民との間でもトラブルがあると思うが、町民にとっては道路の雪は置いていってほしくないというのが本音だ。昨年の冬は車一台分の道幅しかないところが随所に発生していた。空き地や遊休地を一時堆雪場所として増やすことはできないか、伺う。

**町長** 堆雪による道路幅員の減少については、通学路や幹線道路を優先して排雪作業を進めており、他の道路については、パトロール

どのように行ったか。

また、ハラスメントの相談窓口は総務課長であるが、役場内では相談しにくいのではないかと。そこで第三者機関を活用すべきと思うが、いかがか。

現在、八雲町内全域で51箇所の民有地を堆雪場所として有効に利用させていたっており、今後もしも利用可能なところがあれば協力を要請していく。

**Q** ハラスメントの相談に 第三者機関を

**A** 公平委員会の存在を 周知していく

**問** 以前、ハラスメントに関する質問に対し、マニュアルはできているとの答弁をしていたが、マニュアルの配布、研修については

**Q** 二海サーモン 養殖事業について

**A** 引き続き研究・検討を行う

**問** 11月15日から行われた、サーモン種苗生産施設から海面養殖生簀への幼魚(種苗)の移動作業を見せていただいた。今回行った移動作業に関して、反省点や改良点があったか。

また、残った種苗は販売するの聞いたが、どこまで進んでいるのか。

**町長** 熊石サーモン種苗生産施設で育てた幼魚約1万尾を初めて熊石漁港の生簀に放流したが、幼魚を海水に馴らすための適切な時間や、効率的な作業工程など、引き続き研究し、検討を行っていく。

育成した約2万尾のうち、残った幼魚約1万尾については、販売も含めて検討している。

残りの幼魚は青森へ！ 今後、10万粒の卵はどうなる？ (赤井)

## 定例会・臨時会議件一覧

### 令和4年第8回臨時会（令和4年10月24日）

議案第1号	令和4年度八雲町一般会計補正予算（第7号）		
-------	-----------------------	--	--

### 令和4年第4回定例会（令和4年12月8日～13日）

議案第1号	八雲町職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例	議案第13号	令和4年度八雲町一般会計補正予算（第9号）
議案第2号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	議案第14号	令和4年度八雲町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）
議案第3号	八雲町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	発委第1号	八雲町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
議案第4号	八雲町教育長の給与及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例	発議第1号	エサ代高騰等で苦境にある酪農・畜産農家を支援するための意見書
議案第5号	八雲町一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	発議第2号	介護する人・受ける人がともに大切にされる介護保険制度の改善を求める意見書
議案第6号	八雲町一般職員の特殊勤務手当に関する条例及び八雲町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	発議第3号	知的障がい者・知的障がい行政の国の対応拡充を求める意見書
議案第7号	八雲町税条例の一部を改正する条例	発議第4号	旧統一教会の宗教法人解散を求める意見書
議案第8号	八雲町町営住宅条例の一部を改正する条例	発議第5号	健康保険証廃止・マイナンバーカード一体化に反対する意見書
議案第9号	令和4年度八雲町一般会計補正予算（第8号）	発議第6号	带状疱疹ワクチンへの助成を求める意見書
議案第10号	令和4年度八雲町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	発議第7号	生活保護基準を戻し、物価高騰に見合う引き上げを求める意見書
議案第11号	令和4年度八雲町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	航空自衛隊八雲分屯基地有効活用及び周辺整備事業推進特別委員会調査報告書	
議案第12号	令和4年度八雲町下水道事業特別会計補正予算（第2号）	議会運営委員会の閉会中の継続調査申出について	

### 令和5年第1回臨時会（令和5年1月13日）

議案第1号	工事請負契約の締結について	議案第3号	令和4年度八雲町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
議案第2号	令和4年度八雲町一般会計補正予算（第10号）		

**異議あり!**

## 第4回定例会 賛否一覧 (反対のあった議案を掲載)

賛成 ○ 反対 ×

議 件 名	採決結果	赤井陸美	佐藤智子	横田喜世志	大久保建一	関口正博	宮本雅晴	倉地清子	三澤公雄	牧野仁	安藤辰行	能登谷正人	斎藤實	黒島竹満	千葉隆
発議第2号 介護する人・受ける人がともに大切にされる介護保険制度の改善を求める意見書	否 決	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×
発議第4号 旧統一教会の宗教法人解散を求める意見書	否 決	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×
発議第5号 健康保険証廃止・マイナンバーカード一体化に反対する意見書	否 決	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
発議第7号 生活保護基準を戻し、物価高騰に見合う引き上げを求める意見書	否 決	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

※千葉隆議長は、賛否同数の場合にその可否を決定します。

### ケアラー支援講演会を開催しました

11月17日、文教厚生常任委員会と議員会の共催で、北海道社会福祉協議会ケアラー支援推進センター長の中村健治氏をお招きし、「ケアラー支援と北海道における取組みについて」をテーマに講演会を開催しました。

町内の社会福祉協議会の皆さまを始め、せたな町、今金町、長万部町の議員の皆さまも参加してくださいました。

ケアラー（介護者）についての現状と課題を学び、今後、八雲町として、どのような取り組みが必要かを調査・研究していきたいと思えます。



### 議会のうごき

#### 《11月》

- 10日 総務経済常任委員会
- 17日 文教厚生常任委員会

#### 《12月》

- 5日 議会運営委員会
- 8日～13日 第4回定例会  
全員協議会  
総務経済常任委員会  
文教厚生常任委員会  
広報広聴常任委員会  
議会運営委員会
- 16日 議会運営委員会

#### 《1月》

- 10日 広報広聴常任委員会
- 13日 第1回臨時会  
全員協議会  
文教厚生常任委員会  
総務経済常任委員会



# 常任委員会 の活動

令和4年11月から令和5年1月の  
各常任委員会の活動です。

## 文教厚生

### ●常勤医師の確保について（熊石国保病院）

令和5年1月1日より内科医長に、寺西卓也氏を迎えました。

寺西医師は、介護問題も含む「老年内科医」で、認知症や生活習慣病、循環器に精通されています。

これにより、国保病院の常勤医師は、内科医2名、外科医1名の3名体制となりました。熊石地域

にとって喜ばしい報告です。

### ●国保病院建替事業基本設計業務について（熊石国保病院）

公募型プロポーザル方式により、札幌市にある株式会社石本建築事務所札幌オフィスに決定し、11月1日に契約しました。

建替に向けていよいよ動き始めました。病院スタッフにとっても住民の皆さまにとってもより良い病院となつてほしいですね。

### ●旧熊石高校公宅取得（購入）事業概要について（熊石教育事務所）

旧熊石高等学校公宅の取得について北海道教育委員会より打診があり、敷地は無償で町に譲渡するという条件で、建物（公宅）を年次計画で購入予定です。

熊石地域教職員の住宅環境の充実を推進するものです。

表の④は移住定住に向けたお試し住宅（介護人材確保他）等への活用を予定しています。

令和5年度は（①～⑤）の5棟11戸を購入し、専門業者が鑑定評価を行い、評価額が決定される予定です。

令和6年度は（⑥・⑦）の2棟3戸の購入を予定しています。

	建物名称	建築年度	戸数	取得年度
①	熊石平6道有3号公宅	H6年12月	1棟1戸	R5年度
②	熊石平6道有4-7号公宅	H6年12月	1棟4戸	"
③	熊石平7道有8号公宅	H7年12月	1棟1戸	"
④	熊石平7道有9-12号公宅	H7年12月	1棟4戸	"
⑤	熊石平1道有1号公宅	H元年11月	1棟1戸	"
⑥	熊石公共H14公宅	H15年1月	1棟2戸	R6年度
⑦	熊石公共H15公宅	H16年1月	1棟1戸	"

### ●八雲小学校少人数学級事業について（学校教育課）

令和5年度に1名、6年度に1名の計2名を採用し、第1学年と第2学年を、原則として25人学級とします。これにより、学校現場が抱える各種課題の解決や児童・生徒の学力向上など、よりきめ細かな教育の実現を目指します。

任用の条件としては、教員免許（小学校）取得者または取得見込み者であること。また、児童数の減少や町の財政状況の変化等により、教育委員会や役場に勤務する行政職員に任用替えを行うことがあり得るとなっています。

### ●昭和湯休業中の八雲遊楽亭へのバス運行について（環境水道課）

令和5年3月までに、改築した出雲町D団地に入居されると、浴室、風呂がない町営住宅が解消されるため、一定程度、送迎の役目を果たしたとの判断から、3月末日をもって、職員によるバス送迎を終了する予定です。

送迎バスの利用は直近3ヶ月平均で7.6人でした。

その中に町営住宅入居者はいなかったため、送迎の役目を果たしたという判断は少し違つたのではないかと意見がありました。委員会として、より良い方法を探し合い、提言する予定です。

# 総務経済

所管各課から報告を受けた中で、主なものをお知らせします。

## ●八雲町職員の定年引き上げについて（総務課）

**根拠** 地方公務員法の改正（令和5年4月1日施行）

**目的** 生産年齢人口が減少する中で、能力と意欲のある人材を最大限に活用する。

**スケジュール** 令和5年度から、2年に一歳ずつ65歳まで段階的に引き上げる。令和14年度の退職者から65歳定年が行われ、制度が完成する。

**新たな制度の導入** 組織の活力を維持するために、管理職は原則60歳までとする。（役職定年制）  
ただし、特別な事情がある場合は、引き続き管理監督職に留まらせることはできる。

**●旧すまいる熊石施設取得（購入）事業概要について（地域振興課）**  
令和5年度取得（購入）予定。

**活用目的** 若年層の移住者を増やすことで、生産年齢人口の減少に歯止めをかける。

関係人口を増加させ、多様な人材を受け入れることでの様々な分野での担い手を増やす。

新たな「下宿」として、異世代によるホームシェアの体制構築の推進。

**事業項目** 移住・定住に向けたお試し住宅。

域学連携での大学生受入れ拠点滞在、宿泊施設。

スポーツ合宿での宿泊施設。ワークスタイリングサテライトオフィス他。

**施設概要** 平成23年建築、居室は1階9部屋、2階20部屋。

競売物件のため、現在の所有者は北海道銀行。令和4年3月の特別売却期間における売却基準価額は1193万円。（参考）

## ●相沼泊川出張所の廃止について（地域振興課）

出張所の廃止後、町民サービスを維持するために、郵便局で取扱可能な行政サービスを委託する。

**取扱郵便局** 館平郵便局  
**取扱事務** 公的証明書の交付事務、窓口業務他。（左図参照）

## ●公的証明書の交付等事務

- ・住民票の写し等の交付
- ・納税証明書の交付
- ・戸籍謄抄本等の交付
- ・印鑑登録証明書の交付
- ・転出届の受付等

## ●その他の行政事務

- ・国民健康保険に関する届出等
- ・後期高齢者医療に関する届出等
- ・介護保険に関する届出等
- ・国民年金に関する届出等
- ・児童手当に関する届出等

## ●受託窓口事務

- ・福祉タクシー券の交付
- ・高齢者温泉入浴券の交付
- ・冬期福祉手当請求受付事務
- ・各種検診申込事務
- ・各種申請書の取次事務



相沼泊川出張所

**運用開始までの流れ**

令和4年12月  
・熊石地域住民説明会開催。

令和5年度中

- ・郵便局との委託契約締結。
- ・機器設置等に伴う工事等。
- ・包括委託の運用開始。

**委託料** 令和5年度の委託等経費は、初期費用を含めた金額が76万2212円であり、令和3年度の出張所経費、約303万円と比較すると約226万円の経費削減となる。



館平郵便局

拠点の統廃合については、住民感情にも配慮し丁寧に進めていると感じた。

人口減少が進む中で避けては通れない道なので、これからも更なる工夫と、住民コンセンサスづくりが肝となるだろう。（三澤）

# 耳を すまして

町民の皆さまの声が聞きたくて、議会を飛び出し町内の色々な団体やサークルなどの皆さまの声を聞いてみました。今回は

## Yakumo Educational Serviceの皆さんです！ 「高校生アイデア王座決定戦」最優秀賞を獲得！

「高校生アイデア王座決定戦」は、道南の高校生が国連の提唱する持続可能な開発目標（SDGs）と関連する地域の課題解決や活性化の提言を競う場として、令和4年10月に函館で開催されました。

### Q 「高校生アイデア王座決定戦」に参加したきっかけは？

ヤクモ エデュケーション サービス  
・町内にある学習塾、Yakumo Educational Serviceに通う生徒4名が、少人数制のアクティブラーニングクラスで学んだことの発表の場として参加を決めました。

### Q 参加チーム数は？

・一次予選は16チームで、それから二次予選で10チームに絞られ、本選は6チームです。その中で本選に進み、最優秀賞を獲得できました。

### Q テーマ「道南地域の情報発信基地（ITB）の設立による地域の活性化」にたどり着いたきっかけは？

・SDGsのことは知っていましたが、詳しくは知りませんでした。でも自分の町の課題について調べていくうちに、このテーマにたどり着きました。

### Q アクティブラーニングクラスで学んで良かったですか？

・大学入試にもプレゼンがあり、決勝戦の前日が入試だったのですが、この発表のことを話しました。うまくいったので良かったと思いました。  
・この授業を受ける前に比べて、今は自分の意見を持って発想ができるようになりました。

### Q アクティブラーニングを受けて、どのように感じましたか？

・SDGsのことや、政治のことなど、知らなかったことを知ることができました。  
・自分の意見を持って発想できるようになったことで、地域の観光など、私たちがやっていかなければいけないと思いました。

青木先生 大川さん 阿部さん 尾江さん 大井さん



・住んでいる八雲町のことは、これまであまり知りませんでしたが、この学習を通して八雲町を好きになりました。

・人口減少、少子化問題、高齢化が進み、八雲町の勢いがなくなっていると感じます。何か発信していかなければだめだと感じています。

### ・・・取材を終えて・・・

「正解」のない問題について自ら考え、意見を出し合い、より良い解決策を導き出していく。これは私たち議員にとって最も必要なことであり、とても刺激を受けました。地元高校でも、行きたい大学を目指せる支援が私たちにもできるのではないかな。



最優秀賞を獲得した発表は、左のQRコードからご覧ください。



営利を目的とする場合を除き、この議会広報誌をそのまま読むことが困難な方のために、録音図書・拡大写本等へ複製することを認めます。製作後は八雲町議会事務局（☎0137-62-2388）へご報告ください。

## 編集後記

年が明けて1か月経ちましたが、物価高騰の波はますます強くなり、国民にとっては苦しい日々が続いています。

そんな中、今年二十歳を迎え、看護師や介護士を目指して勉強している人たち、パリオリンピックを目指し練習に励む人、サッカーのためにドイツに留学した人、立ちたいと頑張っている人など、希望いっぱい若い若者たちに出会いました。

いつの時代も若者の存在は輝いています。そんな若者の夢と希望を決して崩すことなく、少しでも力になれる関係を築くことが、私たち大人の役割だと思います。

今は苦しくても、一人ひとりが持つ力や力を感じる存分發揮できる、そんな社会を目指したいですね。

そのためには社会が平和でなければ何事も実現できません。

「最大の福祉は平和」という、ある町の町長の言葉を実感しています。

議会広報広聴常任委員会  
委員 赤井睦美